

月報アルバム

マンチェスター大学の思い出 (前項記事参照)
(北村氏撮影)



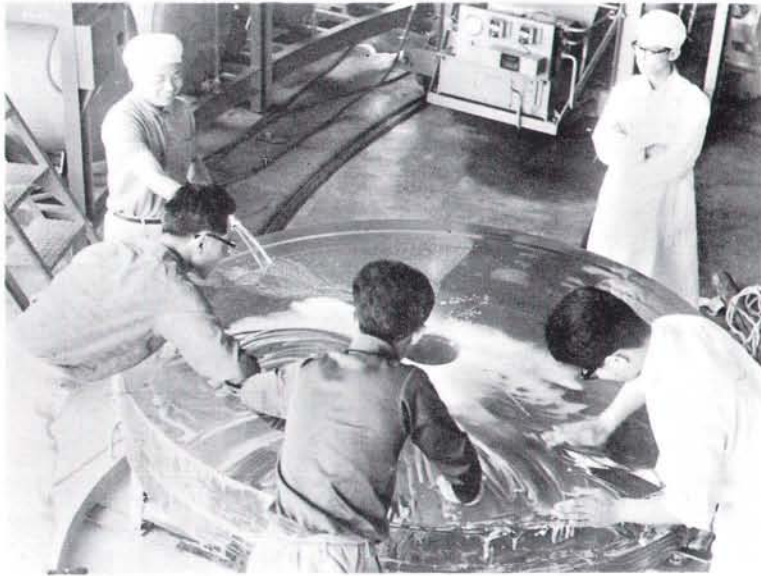
自宅のピアノの前でコバール教授と夫人



前列左から、ラッカム博士、フィンレイ嬢、リング博士、
後列左から3番目、ジェームス博士、コバール教授、2人おいてカーン博士の順。

岡山の蒸着作業

岡山天体物理観測所では、望遠鏡の諸鏡面の定例真空蒸着作業が最近行われた。今回は作業期間に入る前に台風 6 号、8 号の通過で多量の降水にめぐまれ、また作業期間中はつゆ時には珍らしい快晴がつづき、洗滌用の水はたっぷり使えるし、また湿度 70 パーセントという好条件で拭き上りもすっきりとし、188 センチ主鏡、91 センチ主鏡をはじめ十数枚の副鏡類を順調にアルミ蒸着した。アルミ膜の厚さは数万分の一ミリという精度で仕上げるが、特にちり・ほこりは厳禁で、一同は白衣・白ズボン・白帽・マスクといういでたちで、ベン・ケシーさながらの気構えであったが、実情はパン屋の小僧よろしく……というところ。以下にお見せする写真で御判定願いたい。(G)



旧膜はがし作業

旧アルミ膜は苛性ソーダでおとし、そのあとを重曹をすりこんできれいにみがく。



鏡面のスコッチテープ・テスト

鏡面はスパッター終了後十数時間を経て開函し、アルミ膜のつき工合をスコッチテープ（セロテープ）によって調べる。つまり、セロテープをはりつけて、ひっぱってみてはがれなければ合格である。

188 センチ主鏡サイドベルトとりつけ

188 センチ主鏡の側面にはぐるりと溝がほってありここに側吊り金具を装着してサイドベルトをとりつける。うっかり手をすべらして、新メッキ面に指紋でもつけたら大変である。

